

例会 NO 8 6

No 3- 3 1992. 7. 22 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クリスタ・ダクスターマン



Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第86回例会報告(7/15)

司会 SAA 足立潤三郎

☆点 鐘

会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング

「我等の生業」

ソングリーダー

SAA 吉沢 洋景

☆お客様紹介

会長 赤尾 恭雄

鹿島 恒雄様(多摩東分区代理・
東京武蔵府中RC)

福島 和義様(多摩東分区幹事・
東京武蔵府中RC)

葉坂 仁司様(東京多摩RC会長)

古屋 誠児様(東京多摩RC幹事)

平 良信様(東京飛火野RC)

東福寺勝昭様(東京町田RC)

坂場 直行様(東京狛江多摩川RC)

ヨシカワ・ギエルモ様(ベル・アルキナRC)

村上 久様(クラブ新会員予定者)



何かと連携、親睦を深めていきたいので、よろしくとのご挨拶があった。



[鹿島分区代理・福島分区幹事]



[東京多摩RC葉坂会長・古屋幹事]

☆分区代理・幹事ご挨拶

鹿島分区代理および福島分区幹事より本年度よろしくとのご挨拶があった。

☆東京多摩RC会長・幹事ご挨拶

葉坂会長および古屋幹事より本年度一年間

☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

*モンゴル大使館ガンホヤック商務官、多摩市助役ほか幹部と懇談。

7/8(水) 当クラブの例会出席後、ガンホヤック商務官は当クラブ会員4名、国際ソロプチミスト多摩会員3名とともに多摩市を訪問、藤井助役ほか市幹部と、モンゴルの

政治経済の現状および国際交流等について
非公式会談を友好裡に行なった。

*鹿島東分区代理非公式訪問

7/15鹿島東分区代理がガバナー公式訪問の
事前準備のため当クラブ視察。

*多摩RC会長、幹事表敬訪問。

スポンサークラブである多摩RCの会長、
幹事が表敬訪問に見えた。

*赤尾会長、遠藤幹事、多摩RCへ表敬訪問。

7/14(火)、多摩RCの例会に出席、就任
挨拶をした。

*会員候補者 村上 久氏の入会、クラブ内
関係手続完了。

*本年度委員会活動の早期着手。

・活動計画書およびチェックリストの「例
会必携」を確認。

・常時、委員会開催の体制を整備。

・本年度活動計画確認のため、7月中に各
委員会を開催。

*実行グループ・インフォメーションカウ
ンセラーの組織とその活用

・地区ガバナーを補佐するため、34名のベ
テランロータリアンが17部門にわたる実行
グループのゼネラルコーディネーターおよ
びサブをつとめ、かつRI会長が任命する
インフォメーションカウンセラーとともに
各地区委員会活動の質の向上を援助する組
織が編成された。

☆幹事報告

幹事 遠藤 二郎

*他クラブ例会及び例
会場変更のお知らせ

・東京成城新RC

8/13(木)→休会

9/10(木)→

9/8(火)に振替

(成城RC合同例会)

・東京築地RC

8/10(月)→休会 なお、7/20~8/31の期
間は例会場改装工事のため、例会場を下記
に変更 銀座東武ホテル

中央区銀座6-14-10 Tel 03-3546-0111

・東京銀座RC 8/12(水)→休会

なお、7/22~9/2の期間は東京築地RCと
同様、銀座東武ホテルを例会場とする。



・東京銀座新RC 8/14(金)→休会

・東京武蔵国分寺RC

7/1より事務局を下記に移転。

国分寺本町3-2-17 野村証券ビル2F

TEL 0423-23-3443 FAX 0423-23-3459

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員長 宮本 誠

1年間の出席一覧表を作成しましたので、
出席率向上に努めて下さい。

[出席報告]

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	41	30	3	8	80.49%
前 訂正	41	37	0	4	90.24%

※出席免除者 2名

[今週のメイクアップ]

北村幸彦(7/13調布)

奥木博勝(7/14町田中)

海野栄一(7/15会員増強委員長会議)

[欠席届者] 猪股 末男、内藤 實、

中山順一郎、新海源四郎

[欠席者] 小坂 一郎、隅 耕造、

高野 範城、津守 弘範

★親睦委員会 親睦委員長 杉田 誠

ニコニコBOX

鹿島多摩東分区代理・福島東分区幹事様

本年、多摩東分区の世話役を仰せつかりま
した。ご協力をお願いいたします。

坂場 直行様(東京狛江多摩川RC)

村上 久君をよろしく。

葉坂 仁司様(東京多摩RC)

本日はお世話になります。

赤尾 恭雄 鹿島分区代理、福島分区幹事様

ようこそおいで下さいました。また多摩R
C葉坂会長、古屋幹事様、今年もよろしく。

遠藤 二郎 分区代理、分区幹事をお迎えし
て。

吉沢 洋景 東分区代理、幹事をおむかえし
て。

橋口 洋三 S.C.葉坂会長、古屋幹事をお迎
えして。

伊神 稔 お客さまようこそ。
大熊 将夫 スポンサークラブの葉坂会長さん、古屋幹事さん、ほかのお客様ようこそおいていただきました。
城倉 正博 早く天気になるといいですね。
杉田 誠 非常に忙しく、もうかりました。
宮本 誠 駅前のビルが着手しました。
足立潤三郎 分区代理鹿島様、分区幹事福島様をお迎えして。

以上合計 32,000円

★野球同好会 宮本 誠

今年度、新たに野球チームを結成し、第1回練習会を8/9(日)一本杉公園野球場で行なうことになりました。同好の士は奮ってご参加下さい。

☆社会奉仕プロジェクトチーム

田中 實

同チームの報告書を本日、皆様に配布したので、熟読理解下さい。

==== 【卓話】 =====
「ロータリー運動とは」

多摩東分区代理 鹿島 恒雄様

本日は「ロータリー運動とは」という題名が付いていますが、大それた能力もございません、出来る範囲内で話させていただきます。

ロータリーと云えば国際ロータリーがあります。R Iの構成メンバーは各ロータリークラブです。R Cには分区があり、地区がありその上にゾーンがあります。

R Iは我々のクラブに直結しており、その中継役にガバナーがあります。ガバナーはR Iの指針や要請を伝えたり、各クラブの指導や監督をするR Iの唯一の地区役員です。

ただし途中で地区という団体があるわけではありません。したがって地区が何かをするということは無いのです。規定審議によって議決案を提案するという資格を認めている例外はありますが、ひとつの事業主体になることは異例なことです。

地区がひとつの事業主体になれる場合を、ロータリーは極めて限定しております。したがってR Iから地区へ、地区から分区代理へ、分区代理から会長へ指示が来るという様な上命下服の關係に有りませんので誤解の無い様にさせていただきます。

ところで皆様が意外と思われるのが3 H運動だと思います。これはロータリーの75周年を記念して出来た事業です。

これはロータリー財団にお金を預けます。皆様のクラブの寄付、個人の寄付、これらを集めて飢餓、保健及び人権尊重の事業に使うということで、これはロータリー財団を介してはいますが、実はR Iが主体となった事業です。これには私共びっくりしました。ロータリーに異変がおきたと思いました。

従来のロータリーの理事会では、R Iは特定の事業を各クラブに命じたり指示はしないということを決議しています。ところがこの事業を行うために決議を変更しました。1979年です。R Iは時に有益な事業であれば各ロータリークラブおよび各ロータリアンが自由な意志に基づいて参加する事業を示唆したり止揚したりすることがあるというふう議決を変更したわけです。これが無いと事業は出来なかったのです。ロータリーがひとつの変革をおこしたことは事実です。

この後、出て来たのが皆様ご存じのポリオプラスです。

皆様はロータリーには自主性が認められている、又個人も寄付を強制されることはないということが基本にあると理解されていると思います。ところがこの3 H、ポリオプラスの運動は、やや寄付を強制されているのか、割当てられているのかなという印象を受けざるを得ません。言い換えれば個人による奉仕、職業による奉仕がロータリーの中心であり、団体による奉仕は個人による奉仕を訓練し、助長し、育成するための手段であるし、むしろ二次的なものであるという教育を私共受けできました。

しかし3 H運動及びポリオプラスは明らかに違います。そこでロータリーが体質を変えたのかといえ、そうではありあせん。ただ



これによって、引きおこされた新しい波が、個人中心及び職業奉仕を重視する様な非常に個人的色彩の強かったロータリーに団体による奉仕という位置を前進させて両者を並列にしたわけで車の両輪をうまく動かしてゆくロータリーの試みです。 — 中略 —

次に親睦及び奉仕の問題ですが、親睦と奉仕のバランスがでてくるのはおかしく、対立する観念ではありません。それは同一体とするべき観念です。親睦はロータリーの基礎といわれています。それ故出席が第一歩といわれています。クラブに出席することによって親睦が培われ、チームワークが培われ、力が結集します。又知恵が出て、その結果奉仕活動を展開してゆく、それは自分達だけでなく仲間を増やす、新しいクラブを造る、クラブに入らない人にまで我々が自分のために利益したい心と人の為に何かしてあげたいという心の調和を求めるといふ奉仕の哲学、これを多くの人々に広げる精神運動なのです。

出席に第一歩が始まり、親睦がベースになります。しかしその親睦は奉仕のエネルギーを貯えるためのものであって、親睦自体が目的ではないということが大事なのです。又ロータリーがいかなる団体かを的確につかんでいただきたいのです。

ところで23-24という決議が、今以て生きております。その第2項に本来ロータリークラブは実業人及び専門職業人の代表としてロータリーの奉仕の哲学を受入れ、次の四つの実行を目指している人々の集まりである。第一に奉仕の理論が人生に於ける成功と幸福の基礎であることを団体で学ぶこと。第二に自分達の間にも又地域社会に対してもその実例を団体で示すこと。第三に各人が個人としてこれらの理論をそれぞれの職業及び日常生活に於て実践に移すこと。第四に個人として又団体として大いにこの教えを説き、その実例を示すことによってロータリアンだけ

でなく、ロータリアン以外の全ての人が理論的にも実践的にも、この哲学を受入れる様にはげますことである。こういうことを受入れる集団である、と云っております。

ロータリークラブはサロンではありません。又仲良しクラブでもありません。ましてゴルフクラブでもありません。又野球クラブでもありません。そういうものは親睦を助長するものであって目的ではありません、我々は親睦を大事にしますが、奉仕のための親睦です。親睦は常に奉仕につながることを念頭において行われるべきです。

同好会の活動はクラブ本来の活動ではないということを念頭におく必要があります。それは親睦を助長する手段としてクラブは許容しているわけです。そこで親睦がまとまって奉仕に移行するという事です。

ロータリークラブの会員には三通りあります。①まずロータリークラブの会員にはなっていますが、ロータリーというものには無頓着。②ロータリーを追求して一生懸命やる。③ロータリーに一生懸命やる立派な人がいることは尊敬するが私には縁がないからやらない。どの道を選ぶか研究願いたい。立派なロータリアンが大勢おります。私はそういう人のまねをして少しでも追いつきたいと思っております。

皆様も、ロータリーは実践哲学ですので実行していただくことだと思います。

どうか、一年間宜しくお願い申し上げます。有難うございました。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・隈 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30